

取付・取扱説明書

はじめに

この度は、D-SPORT ブレーキマスターシリンダーストッパーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は、ブレーキマスターシリンダーストッパーの取付・取り扱いについての要領と注意を記載してあります。安全に正しく装着していただくために、装着作業前にこの取付・取扱説明書を最後までお読みいただき、装着上の注意事項、本ブレーキマスターシリンダーストッパーの性能などについて充分にご理解の上、正しく使用していただくようお願いいたします。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本製品は、日本国内での使用を目的として開発されたものです。海外では、ご使用にならないで下さい。
This product is designed for use in japan only. It must not be use in any other country.

適応車種

※作業をはじめる前に適応車種と品番が合っているか確認してください。

車名	型式	適応年式	エンジン型式	駆動型式	トランスミッション	品番
コペン 全車	LA400K	2014年6月～	KF	2WD	CVT/MT	47202-A240

構成部品

※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
①	ブラケット A	1	⑤	スペーサー	1
②	ブラケット B	1	⑥	スタッドボルト M10×50	1
③	ブラケット C	1	⑦	フランジナット セレート付 M10	1
④	ブラケット D	1	⑧	アプセットボルト M8×20	5
			⑨	フランジナット セレート付 M8	2

取付上の注意事項

- 本文中の▲ご注意を守って作業してください。もし▲ご注意を無視して取付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障や事故につながる恐れがあります。
- 本書で指示した以外の車両部品を取外さないでください。
- ▲ご注意 本製品の車体への組み付けは、必ず資格のある認証工場で行ってください。
- ▲ご注意 取付作業を行う際は、装着する車両メーカー発行の整備解説書に従って作業してください。
- ▲ご注意 車種別設計になっておりますので、適応車種以外の車両には絶対に使用しないでください。
- ▲ご注意 本製品を改造しての取付は絶対に行なわないでください。
- ▲ご注意 交換時はエンジンを停止して冷却を確認してから作業してください。
- ▲ご注意 本製品の各固定ボルトは必ず指定トルクにて締め付けをしてください。
脱落や破損の原因となる可能性があります。危険です。

※組み付け不良により発生した破損事故等について、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

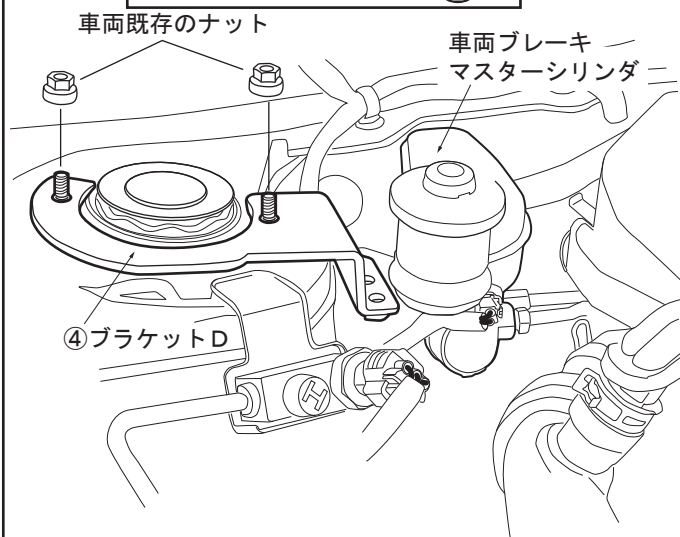
アドバイス

- 取付作業をする際、固定位置がエンジンルームの奥まった所にありますので、クビ振り機能のあるラチェットを使用すると作業が容易になります。クビ振り機能付ラチェットの使用をお勧めします。

取付方法

図 1

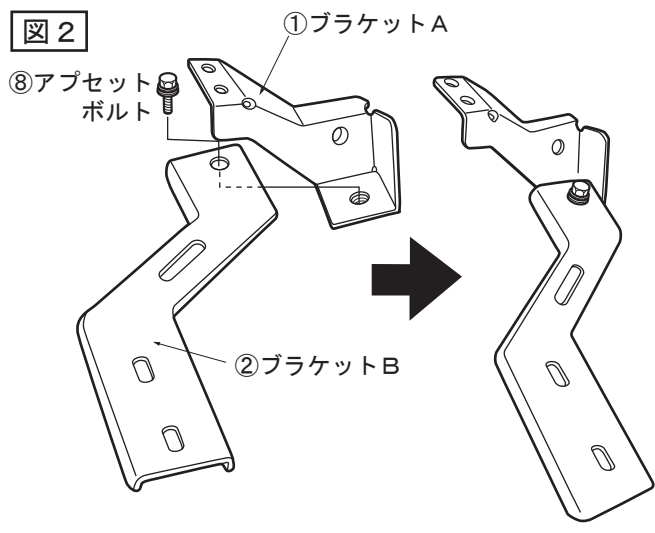
ストラットタワー装着車の場合は
⑨フランジナット(M8)を使用する



1. 車両ボンネットを開けてください。
2. 図1を参照し、運転席側にあるストラット固定ナットを外してください。(2ヶ所)
3. 図1を参照し、④ブラケットDを穴位置を合わせてストラットアップーボルトにセットして、既存のナットにて仮固定してください。

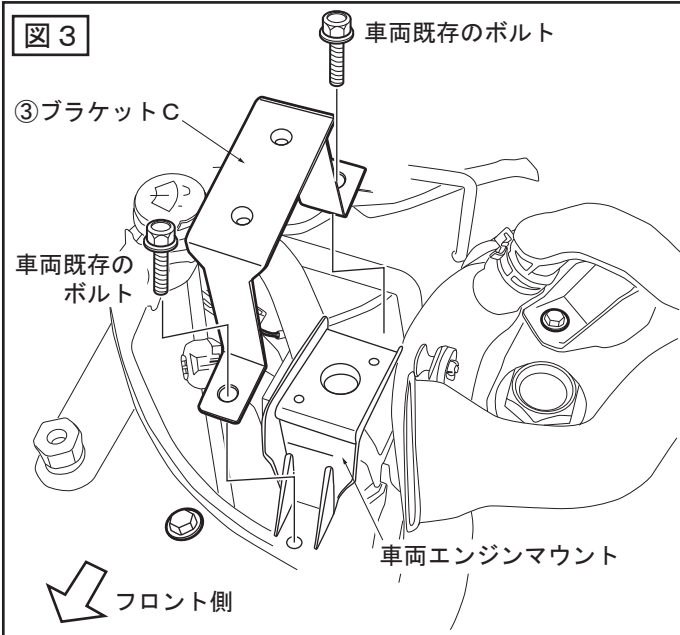
●ストラットタワー装着車に取り付ける場合は、車両既存のナットは使用しないで、⑨フランジナット(M8)を使用して固定してください。

図 2

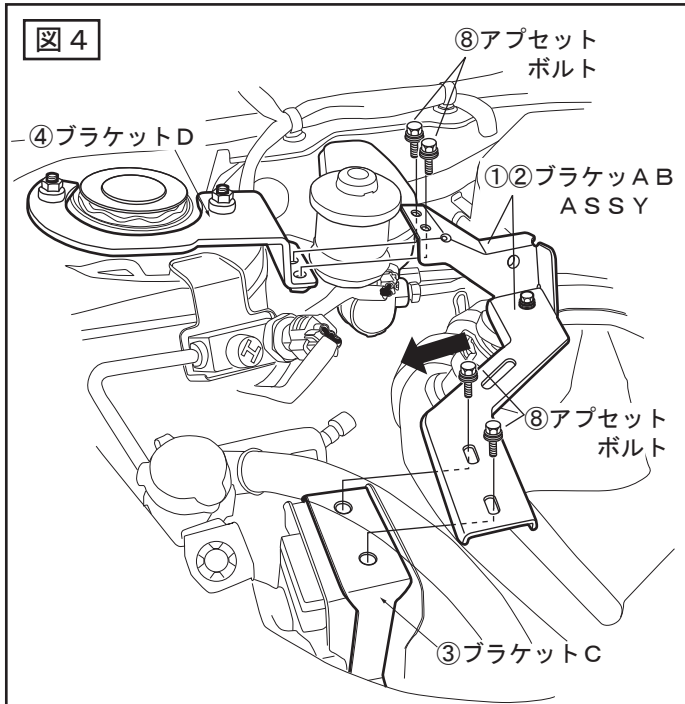


4. 図2を参照し、①ブラケットAと②ブラケットBを⑧アプセットボルトにて仮固定してください。
※それぞれが動く程度に軽くとめてください。

図 3



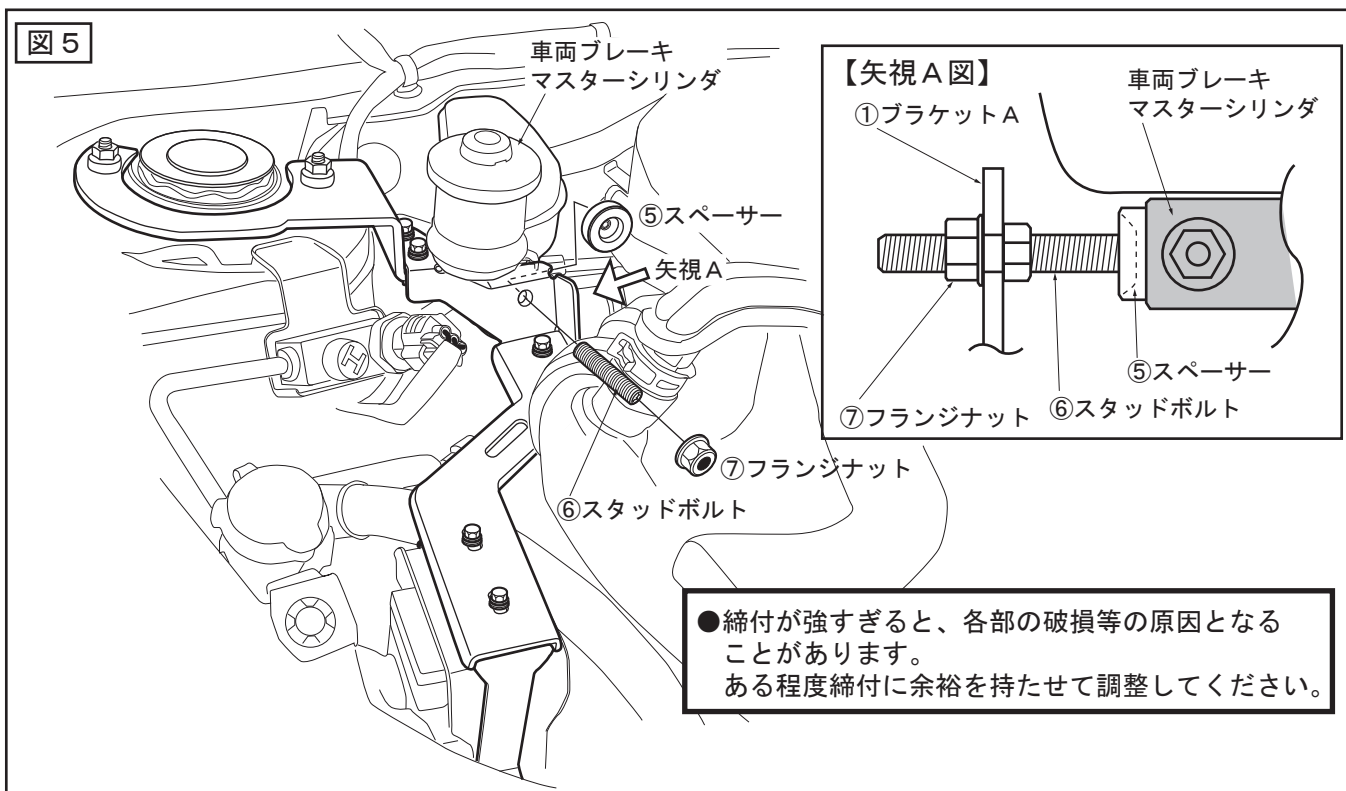
5. 図3を参照し、車両ブレーキマスターシリンダーの前側にあるエンジンマウントを固定しているボルトを外してください。(2ヶ所)
6. 図3を参照し、③ブラケットCを外したボルトの穴位置に合わせ、エンジンマウントに被せるようにセットして、外した既存のボルトにて確実に固定してください。
(指定締付トルクは整備解説書参照願います。)



7. 図4を参照し、仮組した①②ブラケットA Bを車両に取り付けた③ブラケットC、④ブラケットDの穴位置にセットして、⑧アプセットボルトにて仮固定してください。

8. 仮固定してあった各既存のボルト、ナット、⑧アプセットボルトをそれぞれ指定の締付トルクにて確実に固定してください。

●車両既存のボルト、ナットの指定締付トルクは整備解説書参照して確実に締め付けてください。



●締付が強すぎると、各部の破損等の原因となることがあります。
ある程度締付に余裕を持たせて調整してください。

9. 図5を参照し、①ブラケットAの表側から⑥スタッドボルトを取り付けて、長さの半分弱程度ねじ込んでください。

10. 図5の【矢視A図】を参照し、①ブラケットAの裏側に出た⑥スタッドボルトと車両ブレーキマスターシリンダとの間に⑤スペーサーを挟み込むように差し込み、⑤スペーサーが落ちないように⑥スタッドボルトをねじ込んでください。

11. 車両ブレーキマスターシリンダの遊び、動きがない程度まで⑥スタッドボルトを締め込んでください。

12. エンジンを始動して、ブレーキペダルを踏んでブレーキマスターシリンダの動きがないか確認し、締め込みを調整してください。

13. 調整ができましたら、⑦フランジナットの⑥スタッドボルトに取り付け、確実に固定してください。